

まつど更女だより

第31号

2026（令和8）年3月31日発行
編集・発行 / 松戸地区
更生保護女性会
発行責任者 / 太田麗子

市長就任挨拶

松戸市長 松戸 隆政

このたび市長に就任いたしました松戸隆政（まつどたかまさ）です。

まずは松戸地区更生保護女性会の代表として長年にわたり地域福祉と更生保護活動を牽引されている、太田会長に心から敬意と感謝を申し上げます。

松戸地区更生保護女性会は、犯罪や非行のない明るい社会の実現に向けて、長年にわたり地域の安心・安全づくり、更生支援活動や青少年健全育成に尽力されてきました。その献身的な取り組みは、多くの市民の支えとなり、地域の絆を深めているものと深く敬意を表します。

これからも、皆さまの経験と知恵を結集し、更生保護への理解と協力の輪をさらに広げていけるよう、行政としても全力で支援してまいります。共に力を合わせ、誰もが安心して暮らせる松戸のまちを築いていきましょう。

引き続き変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、皆様方がお体に十分留意され、ご活躍されますことをご祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



『更生保護女性会とは？』

会長 太田 麗子

「更生保護女性会とは何の団体ですか？」と、よく聞かれます。知られていません。更生保護女性会とは更生保護施設へのサポート活動、子育て支援活動などを展開し、犯罪、非行、罪を犯した人の立ち直りを支援するボランティア団体です。

「更女だより」という会報誌で年間の活動内容をお知らせし、市内各支所、女性センターゆうまつどに置いて頂き、ふれあい広場での配布等にて広報をしていますが、新入会員の参加は少なく課題となっています。

主な活動として

- * 児童養護施設晴香園の花壇植え替え年2回（6月・11月）
- * 社会を明るくする運動参加（市民会館6月）
- * 市内各ふれあい広場にて沖の永良部島の黒砂糖、ゆり根の販売、バザー等々にて活動資金作り。
- * バス研修での更生保護施設訪問にてさまざまな更生保護の特殊性を受講。
- * 「児童自立援助ホームこたにがわ学園」訪問、3月の卒園時には自立に必要な電化製品贈呈等の支援活動をしています。

私たちはお互いを見守り、安心して生きていけるよう助け合いながら活動をしています。このボランティア活動とは心の報酬です。

令和8年度は設立60周年になりその記念事業に向けて準備をしています。

少しの縁を大切にしながら継続をしていく大切さと難しさを身に染みて感じています。

第75回 社会を明るくする運動

6月14日、社会を明るくする運動が開催され、渡来隆雄保護司会会長、坂本学保護司、更生保護女性会からは柳澤が登壇し、以下の内容について発表をいたしました。更生保護にかかわる活動についての紹介や、DVD「心のリレー 僕は変わりたい」を鑑賞しました。会場では次の様な質問がありました。

- ・更生保護女性会会員となったきっかけと、活動期間
「きっかけは先輩からお声掛けをいただいたこと、保護司活動と併せ26年目となる」
- ・更生保護女性会はどのような人で構成されているのか
「主婦、保護司、会社員等、さまざまな方で構成されている」
- ・更生保護女性会ではどのような活動をしているのか
「児童養護施設での花壇の花の植え替え、児童自立援助ホームへは毎年卒園者に対して希望する電化製品や必要な物を支援している。年間行事としては更生保護施設研修や市内で開催される“ふれあい広場”に参加し、地域の方々との交流を実施している」



柳澤 幸子



このほかに、「社会を明るくする運動」作文コンテストで入賞したお二人による朗読があり、素晴らしい作品に感動しました。第3部では、全国大会にも出場している市立松戸高等学校吹奏楽部による素晴らしい演奏で会を盛り上げフィナーレとなりました。



松戸地区 更生保護関連団体交流会

北原 和子

2月12日、ゆうまつどにて松戸地区保護司会、松戸地区協力雇用主会、聖徳大学BBS会、松戸地区更生保護女性会の4団体の代表交流が行われました。

各会より、様々な更生保護活動が報告されました。又、これから地域に届けたい活動、伝わりにくさを感じている課題、4団体でどのように連携・交流をしていきたいかなど、意見を出し合いました。「明るい社会を目指す」為の取り組みがこの交流会で更に活発になっていけばと思います。



活動報告

6月7日
11月15日
はる花壇
花壇植替

10月21日
小谷川学園
訪問

「会員募集」

松戸市更生保護女性会では、会員を随時募集しています。更生保護に興味のある方、更生施設の見学をしてみたい方、ボランティア活動してみたい方など、一度お電話ください。



◆ 松戸市福祉政策課地域福祉担当室（事務局）
047-366-3019

松戸地区更生保護女性会

検索

バス研修

千代崎 順子

10月7日、午前中は更生保護法人 千葉県婦性会へ。全国にある更生保護施設の一つで千葉県内で唯一の民間の施設を見学。施設長の野堀雅之氏より施設の事業、目的、歴史についてお話がありました。本施設は老朽化が進んでいたため関係機関のご支援とご協力によって令和7年3月に建て替え工事が終了しました。

犯罪や非行を犯した人の中で、更生意欲があっても引受人がなく頼れる人がいない、住居がない、仕事がない等、再出発したいのに更生を妨げられるおそれがある人たちに、一定の期間、宿泊と食事場所を提供し、自立更生できるように援助し、退所した人に対しても支援を行っています。

午後は千葉刑務所へ向かいました。

千葉刑務所は主に長期刑（10年以上の懲役刑及び無期懲役刑）の受刑者を収容。令和7年6月から拘禁刑という新しい法律が施行され、懲らしめから立ち直りへと転換されました。受刑者の更生と社会復帰を目指しています。



千葉刑務所



更生保護法人
千葉県婦性会



ふれあい広場

高橋 美穂

各地区社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」が毎年10月・11月に開催されています。今年度も、10月26日に小金地区、11月9日に矢切地区、11月29日に松飛台・五香地区の会場に出展しました。

黒糖やゆり根の販売、松ぼっくりや雑貨などのバザーを通して更生保護女性会の活動をPRし、各会場とも大変盛況で、例年に引き続き黒糖とゆり根は早々に完売しました。中でも小金地区開催日は大雨にも関わらず常連の方々をはじめ、多くの方々に御来場いただき、大変ありがたいことと感謝の気持ちで一杯になりました。

今後も更生保護女性会をPRさせていただける貴重な機会を大切に、心を込めて活動に取り組んでいきたいと思ひます。



小金地区



松飛台・五香地区

表彰おめでとうございます

第43回 松戸市福祉大会

◇社会福祉協議会特別功労賞

柳澤 幸子 様

第68回 千葉県更生保護大会

◇千葉保護観察所長感謝状

篠 雅子 様

◇千葉県更生保護女性連盟会長表彰

佐藤 とも子 様



更生保護女性会に入ったきっかけ

小森 ツタ子

更生保護女性会の『更女だより』を見て、初めて更生保護の活動を知りました。私にとって聞いた事も見た事もない世界でした。

現在主人の介護もしていますので、私にはとても出来ないとの思いもありましたが、「参加出来る時に参加すれば良いのよ〜」「更生保護施設の見学もありますよ」との話を伺い、とても興味が湧いて来て、やってみようかと思い入会しました。

初めて4月の総会に参加する時は、とてもワクワクして知らない世界に入った気持ちで興奮しました。

なかなか行事には参加出来ない事が多いかと思いますが頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。



第一ブロック研修会に参加して

吉野 とし子

10月23日、太田会長ほか3名で印西市文化ホールで行われた第一ブロック研修会に参加しました。

印西市更女会の皆様がホール内外で温かく迎えて下さいました。研修会では、「講演、各分科会の代表による発表、オカリナ演奏」があり学びのある充実した研修となりました。

成田学園元施設長である石井芳人氏からは、ご自分の体験も交え、「社会的養護が必要な子どもたちへの支援」という演題で講演がありました。現在の世の中は共助の精神が少なくなっている。更生保護女性会の方々には、「ちょっとした声掛け」を母親や子どもたちにして欲しいという願いがありました。

代表発表では、市川地区長から「社会を明るくする運動の取り組み」と、佐倉地区長からは「佐倉市小学6年生へのプレゼントの変遷」のお話がありました。これらの取り組みで更女の活動の趣旨を説明することは、更女の認知度を高めていくことにつながっているという発表でした。



千葉県更生保護大会に参加して

佐藤 とも子

11月20日、第68回千葉県更生保護大会が柏市民文化会館で行われました。

来賓のご臨席のもと、功労者の顕彰を行うことによりその労に報いるとともに、士気の高揚及び意識の統一を図り、もって千葉県における更生保護の一層の充実と発展を期するものです。

表彰状及び感謝状の贈呈、伝達披露が行われ、私は千葉県更生保護女性連盟会長表彰をいただきました。更生保護女性会の皆様と共に活動出来ることに感謝しております。

更生保護の重要性や功績を改めて感じさせられる、素晴らしい大会でした。



聖徳大学学園祭 ~ BBS会 ~

伊藤 奈美子

11月8日、聖徳大学BBS会の学園祭に、保護司の方々と訪問しました。

“ふうせんとハンドメイドの森”と題しバルーンアートやアクセサリー作りを楽しめるブースでは、更生保護にまつわる動画を流し、クイズ形式で活動を知ってもらえるよう工夫がされとても賑わっていました。

作品づくりに挑戦する子ども達もアドバイスや声掛けに次第に表情も和らぎ、完成した作品を笑顔で共に喜び合う様子にBBS活動で培ったコミュニケーション力が活かされているのを感じました。

今年度の聖徳祭のテーマは“共に咲かせよう、大輪の輝き”だと聞きました。自身だけでなく皆が笑顔になれるような活動を互いに続けていきたいと思いました。

